ロータリー２０２５～２０２６年度
UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう
第２８４０地区　２０２５～２０２６年ロータリーのテーマ

館林ロータリークラブ会報

R.I 加盟承認１９５８年６月２日
Club　ID　１３９５６

２０２５年９月１９日(金)　第３２５２回例会報告（Ｎｏ，１０）

点　鐘・ソング　我らの生業

― 会　長　挨　拶 ―

本島　克幸　会長

国際ロータリー第２８４０地区　2025-2026 年度、竹中　隆ガバナー、そして地区役員の皆様、本日は当クラブへの公式訪問、誠にありがとうございます。

ガバナーにおかれましては、日頃より、地区運営にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

本日は、ご多忙の中、私どものクラブにお越しいただき、直接お話を伺えることを大変光栄に存じます。ガバナーの熱意あふれるお話は、私たち会員にとって、ロータリー活動へのモチベーションをさらに高める貴重な機会となると確信しております。

当クラブは、ガバナーが掲げられた「ロータリーを語ろう」というスローガンのもと、微力ながらも地域社会への奉仕に貢献できるよう、会員一丸となって活動してまいります。

本日の公式訪問が、私たちにとって、より良い未来を築くための第一歩となることを願い、心より歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございます。

― お客様のご紹介 ―

国際ロータリー第２８４０地区
ガバナー　竹中　　隆　様
第４分区Ｂガバナー補佐　原　　精一　様
地区副幹事　大井田健一　様

米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ　様

― 会　務　報　告 ―

本島　克幸　会長

Ｒ　７．　９．１３（土）ロータリー財団補助金管理セミナー　於・前橋問屋センター会館
参加者　藤島　　厚・山本　　樹・事務局
Ｒ　７．　９．１５（月）青少年交換委員会・派遣学生選考会　於・ガバナー事務所
参加者　荒木千津子
Ｒ　７．　９．１９（金）クラブ役員懇談会　於・ニューミヤコホテル館林

参加者　本島　克幸・藤島　　厚・関井　宏一
　　山本　　樹・小池　敏郎・小池　和敏
　　毛塚　　宏・小堀　良武・根岸　利正
　　矢島　孝昭・中世　吉昭・正田　　隆
　　宮内　敦夫・長柄　光則・荒木千津子
　　齊藤　一則

今 後 の 予 定

Ｒ　７．　９．１９（金）竹中ガバナー公式訪問例会
　　於・ニューミヤコホテル館林
Ｒ　７．　９・１９（金）第４回クラブ協議会
　　於・ニューミヤコホテル館林
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・荒木千津子
　　飯塚　一成・磯野　哲也・毛塚　　宏
　　小池　和敏・小池　敏郎・小堀　良武
　　齊藤　一則・正田　　隆・鈴木　　誠
　　関井　宏一・関口　　昇・中世　吉昭
　　長柄　　純・長柄　光則・根岸　利正
　　堀越　貴之・本間美儀男・宮内　敦夫
　　森田信一郎・矢島　孝昭・安間　崇人
　　谷田川敏幸・山本　　樹
　　入会３年未満新会員
　　海宝　雄人・斉藤　正人・島田　直樹
　　田中　聡美・松本　隆志・新井　律子
Ｒ　７．　９．２０（土）米山梅吉記念館　秋季例祭
　　於・米山梅吉記念館ホール
Ｒ　７．　９．２４（水）本島年度第１回親睦
ゴルフコンペ　　於・ゴールド佐野カントリークラブ
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・新井　律子
　　荒木千津子・石川　長司・小池　和敏
　　関井　宏一・関口　　昇・本間美儀男
　　森田信一郎・谷田川敏幸・山本　　樹
Ｒ　７．　９．２４（水）「２４・２５年会」
対象者　小池　敏郎　　於・ちぎらホテル
Ｒ　７．　９．２７（土）地区チャリティゴルフ大会
　　於・サンコーカントリークラブ
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・石川　長司
　　小池　敏郎
Ｒ　７．　９．２８（日）ＲＬＩセミナーパートⅠ
　　於・前橋問屋センター会館
対象者　山本　　樹・中世　吉昭・関井　宏一
Ｒ　７．１０．　３（金）第６５回館林創意くふう
作品展表彰式　　於・アゼリアモール
対象者　本島　克幸
Ｒ　７．１０．　４（土）米山カウンセラー研修会
　　於・前橋問屋センター会館
対象者　長柄　光則・齊藤　一則
Ｒ　７．１０．　４（土）米山記念奨学セミナー
　　於・前橋問屋センター会館
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・山本　　樹
　　根岸　利正
Ｒ　７．１０．１５（水）第４分区Ａ・Ｂ９ＲＣ親睦
チャリティゴルフ大会　於・太田双葉カントリークラブ
対象者　本島　克幸・新井　律子・石川　長司
　　関井　宏一・田部井孝一・羽鳥　紫乃
　　矢島　孝昭・安間　崇人・山本　　樹
Ｒ　７．１０．１９（日）ＲＬＩセミナーパートⅡ
　　於・前橋問屋センター会館
対象者　山本　　樹・中世　吉昭・関井　宏一
Ｒ　７．１０．２４（金）ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎
晩餐会　　於・ホテルメトロポリタン高崎
対象者　本島　克幸・藤島　　厚
Ｒ　７．１０．２５（土）地区大会
　　於・高崎芸術劇場／ホテルメトロポリタン高崎
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・荒木千津子
　　飯塚　一成・石川　長司・石倉　利昭
　　上野　和路・毛塚　　宏・小暮　雅丈
　　小堀　良武・関井　宏一・中世　吉昭
　　長柄　　純・根岸　利正・堀越　貴之
　　山本　　樹
　　米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ
Ｒ　７．１１．　９（日）ＲＬＩセミナーパートⅢ
　　於・前橋問屋センター会館
対象者　山本　　樹・中世　吉昭・関井　宏一
Ｒ　７．１１．１３（木）館林市健康づくり推進
　　懇話会
対象者　中世　吉昭　　於・館林市保健センター

―クラブ役員懇談会報告 ―

― 幹　事　報　告 ―

藤島　　厚　幹事

１．例会場・例会時間の変更
２．会報、週報
◆館林ミレニアムＲＣ　→　８月会報
３．その他
◆ガバナー事務所
①森年度財務報告書のご送付
②２０２６－２７年度地区委員会委員長・委員候補者推薦のお願い
【締切日】１０月２０日（月）
③地区リーダーシップセミナーのご案内
【日　時】１０月２４日（金）１３：３０～１６：４５
【会　場】ホテルメトロポリタン高崎
【登録料】お一人様２，０００円
【対象者】本島　克幸・藤島　　厚
◆（公財）ロータリー米山記念奨学会
「ハイライトよねやま　３０６号」のご送付
▼全文は、こちらよりご覧ください。
https://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight306_pdf.pdf
◆高崎東ロータリークラブ
地区大会記念チャリティゴルフ大会組み合わせ表のご送付
◆館林市役所
館林市健康づくり推進懇話会開催のご案内
【日　時】１１月１３日（木）１３：３０～（概ね１時間程度）
【会　場】館林市保健センター１階　予防接種室
【対象者】中世　吉昭
◆館林つつじサポーターズ倶楽部
会報のご送付

― 委　員　会　報　告 ―

館林まつり参加人数の報告

館林のまつり委員会　鈴木　誠　委員長

回答数 44 (1 年生：32 名・2 年生：12 名)

① 出欠について
(参加してみたいと思った 18 名、何となく参加した 23 名、参加したくなかった 3 名)

② まつりに参加してどう思いましたか？
(大変楽しかった 23 名、まあまあ楽しかった 18 名どちらでもない 3 名、楽しくなかった 0 名)

③ 来年も参加してみたいですか？
(是非参加したい 11 名、どちらでもない 25 名、参加したくない 8 名)

④ 印象に残っていることは？
・ここまで盛り上がるとは思わなかった。
・力を合わせて一体感が生まれ、普段できない貴重な体験ができた。
・市長、校長先生、ロータリーの方を担げたこと。
・家が離れているので、なかなか遊べない友達と良い経験ができた。最後にロータリークラブの方たちが優しかった。

⑤ お気づきの点
・掛け声を今一度しっかり最初から決めておく。
・弁当の配布場所が遠かった。

小池　和敏　S・A・A

例会出席報告

通算３２５２回例会

会　員　数 出席率算出会員数	５５名 ５３名
出 席 者 数	４０名
欠 席 者 数	１３名
出　席　率	75.47%
前前回修正	73.08%～80.77%

ニコニコ BOX 委員会　長柄　光則　委員長

― ニ コ ニ コ Ｂ Ｏ Ｘ ―

☆本島　克幸会長　大変頂きました
竹中ガバナー様とご一行様、ご来訪ありがとうございます。

☆山本　樹副会長　大変頂きました
竹中ガバナーご訪問ありがとうございます。本日はご指導よろしくお願いします。

☆藤島　厚幹事　頂きました
本日は竹中ガバナー、原ガバナー補佐、大井田地区副幹事様、ご来訪ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

☆宮内　敦夫パストガバナー　大変頂きました
竹中ガバナー様はじめ、原ガバナー補佐様、大井田副幹事様、ようこそいらっしゃいました。よろしくご指導ください。

☆小池　敏郎会員　大変頂きました
竹中ガバナーご一行様、公式訪問お世話になります。ガバナー講話、楽しみに拝聴させていただきます。ご指導よろしくお願いします。

☆上野　和路会員　頂きました
台北での「ガバナーナイト」楽しみにしています。

☆毛塚　　宏会員　頂きました
竹中隆ガバナー、ようこそ館林 RC へ。

☆横田　善次会員　頂きました
竹中隆ガバナー、遠方館林までご苦労様です。
色々ご指導、よろしくお願いします。

☆関井　宏一会員　大変頂きました
本日は竹中ガバナー、原ガバナー補佐、大井田地区副幹事、ようこそ館林 RC へ。ご指導よろしくお願い申し上げます。

☆小堀　良武会員　頂きました
竹中ガバナー、本日はよろしくお願いします。

☆堀越　貴之会員　大変頂きました
竹中隆ガバナー、本日は館林までお越しいただきまして、ありがとうございます。

☆荒木千津子会員　大変頂きました
本日は竹中ガバナー、原ガバナー補佐、大井田地区副幹事、本日はご来訪を賜りまして幸甚に存じます。又、日頃より青少年交換委員会では大変お世話になっております。どうぞ本日は諸々ご教示の程、よろしくお願いします。

☆根岸　利正会員　頂きました
本日は竹中ガバナー、ガバナースタッフの皆様のご来訪、心より感謝いたします。ご指導よろしくお願いします。

☆矢島　孝昭会員　頂きました
竹中ガバナー、原ガバナー補佐、大井田地区副幹事、ご来訪ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

☆中世　吉昭会員　頂きました
竹中隆ガバナー、原精一ガバナー補佐、大井田健一地区副幹事、公式訪問ありがとうございます。

☆森田信一郎会員　頂きました
竹中ガバナー、ご来訪ありがとうございます。本日、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

☆小池　和敏会員　頂きました
本日は竹中ガバナー、公式訪問例会、どうぞよろしくお願いいたします。

☆齊藤　一則会員　頂きました
本日は竹中ガバナー、原ガバナー補佐、そして地区の米山委員会で大変お世話になっております大井田地区副幹事、ご来訪ありがとうございます。勉強させていただきます。

☆鈴木　　誠会員　頂きました
竹中ガバナー、ようこそいらっしゃいました。

☆正田　　隆会員　大変頂きました
竹中ガバナーの館林公式訪問を歓迎いたします。今後の活躍を祈っております。

☆安間　崇人会員　頂きました
竹中ガバナー、本日はご来訪ありがとうございます。

☆田中　聡美会員　頂きました
竹中ガバナー、本日はよろしくお願いいたします。

☆新井　律子会員　頂きました
竹中隆ガバナー、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

☆長柄　光則会員　頂きました
本日は竹中ガバナー、ご来訪ありがとうございます。
例会、クラブ協議会がニコニコになりますように。

－ガ　バ　ナ　ー　講　話－

国際ロータリー第２８４０地区
ガバナー　竹中　　隆　様

皆様こんにちは。高崎北ロータリークラブの竹中と申します。本日は、このように大勢の皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より宮内パストガバナーをはじめ、多くの皆様に地区運営に対して、ご協力、ご理解をいただいておりますこと、改めて感謝を申し上げます。

先程、ニコニコのお話を聞かせていただいておりますと、ご教示とかご指導とかというワードがありましたが、堅苦しいお話はできません。本日は、皆様とロータリーを一緒にやってみませんか？というようなお話をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

私は昭和 36 年生まれ。ロータリー歴は今年で 29 年目になります。入会した当初は例会には、あまり参加できておりませんでしたが、先輩方から、高崎北ロータリーの皆様の温かさ、交流の楽しさを教えていただいたお陰で、今現在、継続できていると感じております。

今年度、国際ロータリーのテーマがなくなりまして、会長からのメッセージのみということになりした。これは今までは「ロータリーマジック」とか「イマジンロータリー」とか「世界で何とかしよう」など、その年度の会長がご自身のテーマを発表されていましたが、この「Unite for Good」という会長メッセージは、機関決定をされた、国際ロータリーの理事会で決められたというメッセージでございます。6 月、マリオ・セザール会長が突然辞任されました。マリオさんが国際協議会で、テーマではなくメッセージなのかを説明されました。テーマは毎年変える必要はないのではないか？ロータリーはロータリーの目的とかロータリーのビジョン声明とか、皆様にお示ししている具体的なものがあるので、会長のテーマを単年度で変えることは、皆様を混乱させる為、メッセージという形にしましたというお話をされていました。

突然、6 月 9 日にマリオさんが辞められました。6 月 22 日から国際大会がカルガリーで始まる直前でした。国際大会が始まる 1 週間ぐらい前にイタリアのフランチェスコ・アレッツォさんが、会長エレクトに決定し、そのまま数日後の国際大会を迎えました。マリオさんが辞任する前、1 月にマリオさんがガバナーエレクトとミーティングするために日本にお越しになり、その後、2 月にフロリダのラーランドと国際協議会というガバナーエレクト向けの研修会があり、そこでマリオさんからお話を聞いておりましたが、マリオさんが辞任し、がっかりしましたが、フランチェスコさんに代わっても「Unite for Good」は継続すると伺いました。今までの国際ロータリーの会長さんたちもそうでしたが、目指すところは皆様同じところにあり、言葉が違いますが、アプローチの仕方は、ご自身の経験から結びつけるような手法でした。私は、2 人の会長エレクトから「Unite for Good」の解釈や、そこに至る思考の過程とかをお聞かせいただいたということで、現在、前向きに務めております。

マリオさん、フランチェスコさんのお話を整理しますと、基本いくつかに絞ります。一つ目は「Unite for Good」に至るところで、会員を増やしロータリーの影響を拡大するとスピーチの中で言われておりましたが、逆ではないかと私は思っております。ロータリーの影響を拡大するために、会員を増やしましょうと私は現在、理解しております。

二つ目は、ロータリーが価値あるものであり続けるために、時代、そして地域で必要とされるために変わっていかなければいけないという話。

三つ目は、ロータリー単体だけではなくて、奉仕活動のお相手とか行政とかと手を取り合って、より大きなインパクトを目指していきましょう、と仰っておりました。インパクトという言葉をロータリーでは最近よく使いますが、奉仕プロジェクトを行うと、それに向けて会員皆様のマンパワー、会費、補助金などのリソースを投入されます。プロジェクトが完成、完了することによって、お相手が直接喜んでくれることが成果になります。ロータリーはその先のことを求めておりまして、例えば、高崎北ロー

タリークラブで知的障害者の子供たちのバンドに対して、楽器を提供したり、発表の場、コンサートを開いてあげたりすることが、結果であり、子供たちが喜んでくれたり、聞いてくれた人たちが喜んでくれたりするのが成果であり、その先がインパクトであると少し違うかもしれませんが、知的障害の人たちの頑張りとか、来て観ていただいた人だけではなく、その関係の方に少しずつ理解が広がっていくこと。「長年応援してるけど、あの子たちも歳取ってきたね。」「親御さんも歳取ってきたね。」「この次は何をして差し上げられるか。」「この先はどうしていこうか。」をみんなで考えていく。その先のことをインパクトとご理解いただければと思います。ロータリーだけではなく、地域に気づきが広がっていくことをインパクトであると私は感じております。

RI 会長のテーマがなくなり、その時「クラブも地区もテーマをなくした方がいいですよ、なくすことをおすすめします。」と言われました。今年度、各クラブの会長さんたちは混乱されたと思いますが、スローガンという形で、「ロータリーを語ろう」とさせていただきました。「ロータリーを語ろう」は、1 人 1 人の会員のロータリーに対する意識の向上。それによって、ロータリアンとしてのロータリーライフが充実していくような雰囲気を作っていっていただきたいと考えております。皆様とお話をいただく中で、館林ロータリークラブの会員でよかったという、気持ちになっていただきたいと思いますし、会員の皆様、ロータリー以外においても、お仕事、ご家庭があり、商工会や商工会議所など色々な社会的な活動をされてます。その中で、予定が重なった時「やっぱりロータリーに行こう。」とロータリークラブのこと考え、優先順位を上げていただきたい。各会員の皆様のロータリーにおけるプライオリティを上げていただきたいと願っております。

その道具としてマイロータリーがあります。マイロータリーに登録してくださいと会長も言われると思いますが、マイロータリーに登録することが目的ではございません。マイロータリーを使っていただきたい。マイロータリーに登録しますと、会員 1 人 1 人の履歴書のような使い方ができます。何年に入会し、何の役職を歴任してきたかなどの履歴書のような使い方もできますし、ラーニングセンターを使って、ロータリアンとしての知識、情報を得ることもできます。是非、使っていただきたいと思います。

お願いになりますが、ご家族の方に奉仕活動にご参加をいただきたいと思っております。一番お近くにいる方に皆様が行っている活動、館林ロータリークラブのいいところをご理解いただく機会にしていただければと思います。

戻りますが、スローガンとして「ロータリーを語ろう」をお示しさせていただきました。誰と何を語るのかということも、会員の皆様で考えていただければと思っております。ロータリアン同士でロータリーは、この様ないいところがある、逆でここが欠点であるなど、ロータリーについてお互いに話し合っていただきたい。クラブにおいては、館林ロータリークラブは 60 年以上の歴史の中で、これはずっと守ってきた良いことだ。この先、何を実施し、何を繋げていこうなど、話し合っていただきたいと思っております。

また、先程、ご家族に奉仕活動に参加していただきたいというお話をしましたが、ロータリアン以外の方に対しては、ロータリーの理念、思想、行動を是非、お話していただきたいと思います。それによって、ロータリークラブに対する認識が高まり、ロータリークラブに対する帰属意識が高まると思っております。そして対外に向けて、地域における良い評判だという評価形成をしていただきたいと思っております。1 人 1 人が隣の方にお声がけいただく、お伝えいただくことによって、地道ですが、公共イメージの形成に繋がっていくと思っております。

2 人の会長エレクトから国際協議会、国際大会閉会式で伺った内容としまして、いくつかキーワードがございます。このキーワードを使って、是非、語り合っていただきたいと思っております。この「dream」からはじまる 7 つのワード。マリオさんが国際協議会の前に日本にいらっしゃり、ガバナーエレクトとして 1 日研修をしたときに伺った言葉でございます。夢、目標を持って計画を立て実践して、リーダーとしてプロジェクトを遂行する上でのキーワードだと思いますが、この中で、「have fun」楽しむ気持ちを持って実践してください、を強調されていました。「キャパシティ」、「リテンション」、「クリエイティビティ」、中でも「リテンション」会員の維

持、退会防止というように使われておりますが、保つという意味であると思います。

そして、「ポリオピース」、フランチェスコさんが国際大会の閉会式でお話された言葉です。フランチェスコさんが３つを実施しますと言われたワードの１つになります。ポリオ・メンバーシップ・ピースの３つを１年間実施しますと仰っておりました。RI会長から発せられたメッセージ「Unite for Good」、「ロータリーを語ろう」と同じように、会員の皆様に考えていただくヒントに、またお話し合いいただくキーワードになろうかと思います。「Unite」、誰と手を取り合い、「Good」良いこととは何ですか？1つの結論に達することはないと思いますが、皆様で話し合っていただきたいと思います。

フランチェスコさんは、「Unite」は団結・調和と仰っておりました。「Unite」について手を取り合うということですが、概念とすると、空間と時間がありますというお話をされてました。空間というのは、一緒に実施というような、手を取れるイメージだと思います。パートナーシップにも繋がると思います。一緒に実施する方と、より緊密に手を取り合って力を合わせて、実施することにより、大きなインパクトが生まれると仰っておりました。

一つの概念は、時間の概念だと仰っております。会長、会長エレクトと会長ノミニー、直前会長と時間的な継続、継続性ということだと思います。館林ロータリークラブは、インターアクト、ボーイスカウト、奨学金という柱があるとすると、それに向かって毎年同じことをやるという継続もあるかもしれませんが、一つの方向に向かって続けていく、今年はこれをやろう、来年はやろう、というような継続性というのもイメージできるかと思っております。それによって大きな成果、大きなインパクトが生まれていくとフランチェスコさんは仰っておりました。

フランチェスコさんが仰られる「Good」。根絶直前まで来ておりますポリオ根絶を最優先にします、とフランチェスコさんは仰っておりました。ロータリーの最終的な求める良いことというのは平和です。ピースというと平和もありますし、穏やかな不安のない、心の平穏みたいなところも含めてのピースであると私は感じております。ピースは何と言いますと、その平穏な状態を作りましょう、不安のない状態を作りましょうというのが、ロータリーの考え方であると感じております。例えば、フードバンクでありましたり、子供食堂でありましたり、または青少年交換、米山の学生さんの受け入れなど、人を育てたり、不安のない環境を作ったり、我々が新たな刺激をもらったりと、日々、ロータリアンが活動している、日常的な活動が平和、穏やかな不安もない社会を作っていく第一歩になっていくと気づかせていただきました。

ロータリーの議長声明の中に、持続可能な良い変化とありますが、私は活動を通じて会員の１人１人の変化、これがロータリーの最大の活動成果ではないかと思っております。我々も活動を通じて成長できるということだと思っております。「Unite for Good」などのキーワードで是非、皆様で語り合っていただきたい。そのことによって、クラブの活発な活動に繋がると考えております。

ロータリーは、様々なプログラム、リソースがあります。会員の皆様１人１人が、ご自分のロータリアンとしてのミッションを見つけていただきたい、絞っていただきたいと思ってます。たとえば、クラブのために会員が楽しく有効な時間を過ごせるよう、クラブ褒章に力を注ぐなど何でも構いません。全部を実践するのは難しいと思いますので、絞って実践していただきたいと思います。それによって、ロータリアン１人１人の、帰属意識、プライオリティが上がることによって、クラブの活動がより活発になって、より楽しいクラブへと成長していくと思っております。ロータリーの目的そして、四つのテスト、中核的価値観、ビジョン声明を語り合っていただく中で、ずれが生じてきているときは、ロータリーの基本的概念に立ち戻っていただきたいと思っております。私達はクラブの活動を通じて、会員の皆様、１人１人のロータリーライフ、クラブライフが充実することによって、活動が活発になります。それによって活動を通じて、地域、世界で必要とされるロータリーに是非なっていきたいと思っております。

マリオさんが国際協議会でガバナーエレクト向けにスピーチをされたとき、「あなたたちはこうしてください。」「こうあってください。」というような指示を感じました。フランチェスコさんの国際大会でのスピーチでは、何度も「together」と呼びかけられ

ました。フランチェスコさんは、130 万人近くなるロータリアンに向けて、「私はこう考えてます。」「皆様、一緒にやりましょう。」と呼びかけ、訴え続けたという感想を持ちました。是非、皆様もクラブ一体になって、この１年、会長を支えいただいて、かつ充実した活動を目指していただきたいと思っております。繰り返しになりますが、「Unite for Good」、共に手を取り合って、よりよい世界、よりよい地域社会を一緒に作っていきましょう。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、国際大会アピールを実施するということが私のミッションになっております。国際大会は、来年の６月に台湾で開催されます。国際大会に行くと町全部がロータリー一色に染まっております。世界におけるロータリーの広がりを感じられる機会でございますので、是非、参加のご検討をよろしくお願いいたします。ローターリーライフを楽しんでいただければと思います。一緒に１年過ごしていきたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

小池　和敏　S・A・A

―クラブ協議会報告 ―

◆例会日　毎週金曜日　12：10 より
◆例会場　ニューミヤコホテル館林（館林市文化会館内）
館林市城町 3-1　TEL0276-50-1541
◆事務所　館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32　TEL･FAX 72-8181
◆E:mail　tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

第 2840 地区ガバナー　竹中　隆
会　　長　本島　克幸　　副会長　山本　　樹
幹　　事　藤島　　厚　　副幹事　中世　吉昭
会報　委員　森田信一郎　　斉藤　正人
発行責任者　本島　克幸　　編集責任者　森田信一郎